

大学院工学研究科5年一貫制博士課程

技術科学イノベーション専攻 学生募集要項

本学における入学者受入方針（アドミッションポリシー）

長岡技術科学大学は、活力(Vitality)、独創力(Originality)及び世のための奉仕(Services)を重んじるVOSの精神をモットーとして、実践的・創造的能力を備え国際的に通用する指導的技術者・研究者を養成することを目的に、学部から大学院までの一貫教育を行っており、次のような学生を広く求めます。

- 1 技術や科学をより深く研究する意欲をもつ人
- 2 新しい分野の開拓や理論の創出、もの作りに意欲をもつ人
- 3 国際的視野と感覚をもち、世界的研究を目指す人
- 4 独自の優れた個性を発揮する意欲をもつ人
- 5 独創的研究に取り組む意欲をもつ人
- 6 人間性が豊かで、人類の幸福に貢献しようとする意識をもつ人

技術科学イノベーション専攻入学者受入方針(アドミッションポリシー)

本専攻では次のような学生を広く求めます。

- 1 技術科学イノベーション分野の学修・研究に強い関心があり、グローバルに活躍してイノベーションを起こす能力や世界の産業を牽引する力を涵養し、その発展に貢献する意欲がある人
- 2 機械・電気・材料・建設・生物等の専門分野の高度な研究能力を身に付けた上で複眼的な視野に立ち、技術科学に関する実践的かつ異分野融合的な能力を修得したい人
- 3 先見的な視野を有し、ビジネスマインドと倫理観を兼備することを目指す人
- 4 研究、事業推進及び情報発信に資する英語力、コミュニケーション能力、ファシリテーション能力、研究企画立案力、及びビジネス展開に必要な基礎知識を修得したい人
- 5 研究課題に対して科学的な手法によってその本質を見抜き、真にイノベティブな解決手段を導く能力を修得したい人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

各大学、高等専門学校専攻科等が定める教育課程に従い、本専攻で学修・研究を進めるための英語力、及び基礎学力と応用力が必要です。

1. 募集人員

第1回募集 15人 第2回募集 若干人

(注1) 第2回募集は欠員が生じた場合のみ実施します。第2回募集を希望する場合は、必ず本学入試課入学試験第1係(0258-47-9271、9273)に第2回募集の実施の有無を確認してください。

(注2) 募集人員には、学内推薦入試・学内学力入試及び高等専門学校専攻科修了見込者推薦入試を含みます。

2. 出願資格

次の ~ のいずれかに該当する者

日本の大学を卒業した者及び平成 30 年 3 月までに卒業見込みの者

大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者

外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者

外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者

我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者

外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 年 3 月までに授与される見込みの者

専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 30 年 3 月までに修了見込みの者

文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）

平成 30 年 3 月までに大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得できる又は修得したと本学大学院が認めた者

本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者

出願資格の確認等

出願資格 又は に該当する者については、出願資格等を確認しますので、必ず出願の前に入学試験第 1 係に照会し、同係の指示する書類を提出してください。

*また、出願資格 又は に該当する者については、事前に出願資格審査が必要です。出願資格に応じた次の書類を下記の期日までに提出してください。審査の結果、出願資格の認定された者のみ出願を受理します。

（ 第 1 回募集出願希望： 平成 29 年 5 月 8 日（月）迄
第 2 回募集出願希望： 平成 29 年 8 月 2 日（水）迄 ）

なお、出願資格審査の結果は、第 1 回募集は 5 月 16 日（火）に、第 2 回募集は 8 月 18 日（金）に大学から発送します。

出願資格 に該当の場合

- 1) 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- 2) 在学証明書、成績証明書等

出願資格 に該当の場合

- 1) 出願資格認定審査調書（本学所定の用紙）
- 2) 学習歴等を証明する書類（卒業証明書、成績証明書及び学位証明書）
- 3) 実務経験及び国際的活動経験等を証明する書類（論文、研究報告、学会等での活動歴等）

3. 出願手続

(1) 出願期間

第1回募集：平成29年6月5日(月)～平成29年6月8日(木)〔期間内必着〕

第2回募集：平成29年8月30日(水)～平成29年9月4日(月)〔期間内必着〕

(注1) 第2回募集は欠員が生じた場合のみ実施します。第2回募集を希望する場合は、必ず本学入試課入学試験第1係(0258-47-9271、9273)に第2回募集の実施の有無を確認してください。

(注2) 本学では、平成23年3月発生の東日本大震災(これに伴う東京電力福島第1原子力発電所の事故による避難を含む)及び平成28年4月発生の熊本地震の被災者に対する特別措置として、検定料の全額免除の制度を設けています。この制度の適用を希望する場合は、次の または を確認のうえ、検定料を振込む前に入試課入学試験第1係(電話0258-47-9271、9273)に連絡のうえ、申請手続きについて指示を受けてください。

出願者又は出願者の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という。)が被災地域に居住し、かつその者の家屋が次のいずれかに該当する被害を受けた場合

・全壊 ・大規模半壊 ・半壊 ・床上浸水 ・家屋流失

学資負担者の居住地が東京電力福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難区域等に指定され、居住を制限された状態にある場合

(2) 出願に必要な書類等

出願に必要な書類等	摘 要
1 入学志願票・受験票	必要事項を本人が記入してください。 写真は、正面上半身無帽(縦40mm×横30mm)で、出願以前3か月以内に撮影したものを所定欄に貼り付けてください。
2 検定料振込済証明書貼付票	「検定料振込済証明書」を貼り付けてください。
3 検定料(本学所定の検定料振込依頼書により振込)	30,000円 検定料の納入は金融機関(郵便局を除く。)の受付窓口からの振り込みに限ります。(ATMは使用不可。) 振込手数料は、出願者の負担です。 検定料の納入は願書受付期間の始まる3週間前から行えます。 検定料を振り込んだ時に、取扱銀行収納印を押した「検定料振込済証明書」と「受取書」を必ず受け取ってください。 「受取書」は領収書となりますので、大切に保管してください。 海外に在住し、本学所定の検定料振込依頼書を使用できない者は、必ず事前に本学入学試験第1係へ問い合わせてください。
4 成績証明書	出身学校の所定のもので厳封したもの 専攻科出身者及び大学編入者は、上記書類のほかに専攻科入学又は大学編入以前の出身学校の成績証明書も提出してください。
5 卒業又は修了(見込)証明書	出身学校の所定のもの
6 学位授与証明書又は学位授与申請(予定)証明書	大学改革支援・学位授与機構又は出身学校所定のもの 出願資格 等の該当者のみ

7	高度専門士の称号授与(見込)証明書	出身学校所定のもの 出願資格 等の該当者のみ
8	志望調書	必要事項を本人が記入してください。
9	宛名票	合格、その他の通知に使用しますので、5 か所すべてに所要事項を記入してください。
10	返信用封筒(長形3号 235×120mm)	本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、362 円分の切手(速達郵便料金を含む。)を貼り付けたもの(受験票等の送付に使用します。)
11	住民票等 外国人留学生のみ必要	市区町村長から交付された、在留資格が明示されたもの。 海外在住者においてはパスポートの写し(表紙及び氏名、国籍、写真、生年月日の記載されたページ)。 出願書類には、必ずこれらの書類に記載の氏名を用いてください。

- (注) 1. 提出された出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。
また、記載事項の変更を認めません。ただし、現住所、受験のための連絡場所等に変更があったときは、速やかに届け出てください。
2. これらの書類は、すべて英語又は日本語により作成すること。(その他の言語による場合は、訳文を添付。)
3. 証明書は、必ず原本を提出してください。外国の証明書で原本を提出できない場合は、大使館等公的機関で原本証明されたコピーを提出してください。
4. 振込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった場合
出願が受理されなかった場合
検定料等を誤って二重に振り込んだ場合
出願後に国費外国人留学生への採用が決定し、本学に入学する場合

〔返還請求の方法〕

下記担当まで問い合わせのうえ、「検定料還付請求書」(本学所定の書式)を入手してください。(窓口にてお渡しするか、郵送等によりお送りします。)

「検定料還付請求書」に必要事項を記入し、「検定料振込済証明書」を添付して、速やかに下記担当まで提出してください。

(担当) 〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町 1603-1
長岡技術科学大学総務部財務課経理係
電話 0258-47-9215
FAX 0258-47-9040

返還には、本学で「検定料還付請求書」を受理した後、約1か月程度の期間を要します。

(3) 出願書類の提出

出願書類等は、郵送又は持参してください。

郵送の場合：角形2号(330mm×240mm)の封筒により、書留・速達郵便とし、封筒の表に「5年一貫制博士課程出願書類在中」と記入してください。郵送期間を十分考慮のうえ、必ず出願期間内に着くようにしてください。

持参の場合：出願期間内の9:00~17:00に持参してください。

4. 入試方法

口述試験及び面接の各結果と提出された調書等の内容を総合して行います。

(1) 口述試験

次の表のとおり、志願者が専攻しようとする学問分野において、学習に必要な基礎ができているか試問（板書等を含む。）を行います。

専攻名	試問内容
技術科学イノベーション専攻	専門科目 希望する指導教員を入学志願票に記入してください。その教員の専門科目の口述試験を日本語と英語で実施します。

(2) 面接

5. 試験の日時及び場所

(1) 第1回募集：平成29年7月4日（火）午前10時～ 長岡技術科学大学

(2) 第2回募集：平成29年9月19日（火）午前10時～ 長岡技術科学大学

(注) 第2回募集は欠員が生じた場合のみ実施します。第2回募集を希望する場合は、必ず本学入試課入学試験第1係(0258-47-9271、9273)に第2回募集の実施の有無を確認してください。

6. 合格者の発表

(1) 第1回募集：平成29年7月13日（木）午前10時

(2) 第2回募集：平成29年10月5日（木）午前10時

本学に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

また、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。本学のホームページアドレスは <http://www.nagaokaut.ac.jp/> です。

なお、「合格通知書」をもって、正式な通知とします。

（電話等による合否の照会には、一切応じません。）

7. 入学手続等

(1) 入学手続

入学手続時には「所定の書類（誓約書、保証書等）」の提出をすることとなります。

(2) 納入経費

技術科学イノベーション専攻入学者は全員、原則として入学金及び授業料は全額免除となります。授業料が免除されるのは、原則として大学院5年一貫制博士課程の5年間です。（5年を超える場合は、授業料を納めることとなります。）

8. 募集要項の交付

郵送を希望するときは、封筒の表に「5年一貫制博士課程募集要項（一般入試）請求」と記入し、返信用封筒を同封して、申し込んでください。

詳しくは、本学ホームページ（<http://www.nagaokaut.ac.jp>）をご覧ください。

返信用封筒：角形2号（330mm×240mm）の大きさのものを使用して、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、400円分の切手（速達の場合は780円分の切手）を貼り付けてください。

9. 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載された住所・氏名・生年月日その他の個人情報は、適切に管理し、下記利用目的以外には使用しません。

入学者選抜、合格者の発表、入学手続き及びこれらに付随する事項

入学後の学務業務における学籍・成績管理

入学者選抜方法改善のための基礎資料

10. その他

(1)出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがありますので、十分注意してください。

(2)出願書類等を受理したときは、受験票、受験者心得を送付します。

(3)出願等に関して不明な点があるときは、問い合わせてください。